

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

フィールドシンポジウム 大台ヶ原の森は蘇るのか
ー長期モニタリングから森とシカの生態系保全を考える

Volume 42

Number 1

June 2020



関西自然保護機構

Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

大台ヶ原のアケボノツツジ

文・写真 前迫ゆり

四季それぞれに大台ヶ原の自然は姿を変えますが、木々の葉が展開する 5 月の大台ヶ原は華やかで心が弾みます。紀伊半島から四国に分布するアケボノツツジは、展葉前に枝先にかわいいピンク色の花をひとつ咲かせます。

冬の厳しい自然環境が生んだ伝説も多くあります。大学院生の頃、大台協会で田垣内さんのおじいちゃんから聴いた妖怪「一本だたら」の名調子は抜群でした。大台ヶ原が育んだ多様な自然と人の繋がりは魅力的です。

(2008 年 5 月 22 日撮影)

関西自然保護機構 (KONC : Kansai Organization for Nature Conservation)

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人々を幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978 年に創立されました。

KONC はその活動の成果と、会員個人々の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ (助言勧告機関) として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。